



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月4日
東

上場会社名 塩水港精糖株式会社 上場取引所
 コード番号 2112 URL <http://www.ensuiko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 成克
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小田 俊一 (TEL) 03-3249-2381
 四半期報告書提出予定日 2023年8月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	7,796	13.3	315	84.3	1,119	277.7	888	296.1
2023年3月期第1四半期	6,879	10.0	171	△30.2	296	△19.2	224	△18.7

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,267百万円(537.7%) 2023年3月期第1四半期 198百万円(△25.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	32.55	—
2023年3月期第1四半期	8.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	26,971	12,159	45.1
2023年3月期	25,877	11,028	42.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 12,159百万円 2023年3月期 11,028百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,200	4.5	520	△16.5	1,300	77.7	890	78.6	32.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一
 期中における重要な子会社の異動に関する注記

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	35,000,000株	2023年3月期	35,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	7,696,677株	2023年3月期	7,696,677株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	27,303,323株	2023年3月期1Q	27,226,325株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う人流増加などにより、緩やかな回復の動きが見られるものの、エネルギー価格、原材料価格の高騰による物価高、世界的な金融引き締めの影響などにより景気の先行きは依然として不透明な環境が続いております。

このような環境の中で、当社グループはお客様、地域社会、関係取引先、従業員及びその家族の安全と健康を確保することを最優先に、生活必需品である砂糖や、オリゴ糖をはじめとした機能性素材等の製品を安定して消費者の皆様にお届けすることを第一義に考え、お客様のおなかの健康に貢献する「おなかにやさしい会社」として、年度計画達成に向けて全力で取り組んでまいりました結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

①砂糖事業

海外原糖市況は、ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限、1ポンド当たり）において22.35セントで始まりしました。期初より原糖の供給懸念を背景とした投機筋による買いで相場の上昇が続き、さらには原油価格の高騰など外部環境も上昇を後押しし、4月下旬には11年ぶりの高値27.41セントまで値を伸ばしました。6月中旬以降は、ブラジルの好調な生産状況や中国の景気減速による粗糖の輸入減観測により、一転して相場は調整局面に入り、結局22.89セントで当第1四半期連結累計期間を終了しました。

国内市中価格（日本経済新聞掲載、上白大袋1kg当たり）は、期初227円～229円で始まり、同水準のまま当第1四半期連結累計期間を終了しました。

精糖およびその他糖類など国内販売では、人流回復による需要の増加が期待されたものの、インバウンドや観光需要等についてはコロナ禍前の水準に至らず、家庭用・業務用製品いずれも低調に推移しました。一方で原材料価格高騰の中、適正価格による販売に努めたことから売上高は前年同四半期を上回りました。

以上の結果、砂糖事業全体の売上高は7,294百万円（前年同四半期比14.0%増）、セグメント利益は454百万円（前年同四半期比39.4%増）となりました。

②バイオ事業

オリゴ糖部門は、前期まで「オリゴのおかげ」シリーズが健康志向の高まりやTV特需等の影響を受け好調に推移したものの当期は需要が一服し、売上高は前年同四半期を下回りました。

サイクロデキストリン部門は、一部ユーザー向け製品の販売が好調であったため、売上高は前年を上回りました。

ビーツ部門は、ECサイトでの販売を中心に展開し、売上高は前年並みに推移しました。

以上の結果、バイオ事業全体の売上高は514百万円（前年同四半期比4.8%増）、原材料コスト等の上昇に伴いセグメント利益は114百万円（前年同四半期比16.6%減）となりました。

③その他

その他の事業につきましては、ニューESRビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用に努めました結果、売上高は33百万円（前年同四半期比0.1%増）、セグメント利益は18百万円（前年同四半期比14.8%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,796百万円（前年同四半期比13.3%増）、営業利益は315百万円（前年同四半期比84.3%増）、また、出資先からの受取配当金が増加したことから経常利益は1,119百万円（前年同四半期比277.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は888百万円（前年同四半期比296.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産合計は前連結会計年度末に比べて839百万円増加し、9,527百万円となりました。これは主に、現金及び預金が356百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が274百万円、仕掛品が129百万円、原材料及び貯蔵品が599百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産合計は前連結会計年度末に比べて254百万円増加し、17,444百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が49百万円、建設仮勘定が82百万円、繰延税金資産が202百万円それぞれ減少した一方で、投資有価証券が585百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1,093百万円増加し、26,971百万円となりました。

②負債

負債合計は前連結会計年度末に比べて37百万円減少し、14,811百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が997百万円増加した一方で、有利子負債が908百万円、未払法人税等が41百万円減少したことによるものであります。

③純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,130百万円増加し、12,159百万円となりました。これは主に、利益剰余金が752百万円増加、その他有価証券評価差額金が346百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、今後も原料価格の高騰などが見込まれ、第2四半期以降収益の圧迫が予測されることから、2023年5月29日付「出資先からの配当金の受領及び業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想から修正はございません。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,212	1,856
受取手形及び売掛金	2,012	2,286
商品及び製品	1,395	1,451
仕掛品	206	336
原材料及び貯蔵品	1,670	2,269
その他	1,190	1,327
流動資産合計	8,688	9,527
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,211	10,214
減価償却累計額	△7,630	△7,682
建物及び構築物（純額）	2,580	2,531
機械装置及び運搬具	12,257	12,342
減価償却累計額	△10,522	△10,602
機械装置及び運搬具（純額）	1,735	1,739
工具、器具及び備品	425	426
減価償却累計額	△379	△383
工具、器具及び備品（純額）	45	42
土地	5,234	5,234
建設仮勘定	93	11
有形固定資産合計	9,690	9,560
無形固定資産		
ソフトウェア	19	18
その他	6	6
無形固定資産合計	25	24
投資その他の資産		
投資有価証券	5,221	5,807
長期貸付金	1,511	1,520
繰延税金資産	648	446
その他	92	86
投資その他の資産合計	7,473	7,859
固定資産合計	17,189	17,444
資産合計	25,877	26,971

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,176	2,173
短期借入金	4,800	4,100
1年内返済予定の長期借入金	1,872	1,772
未払法人税等	107	65
未払消費税等	75	89
賞与引当金	65	30
その他	1,063	1,005
流動負債合計	9,159	9,236
固定負債		
長期借入金	5,156	5,048
退職給付に係る負債	300	294
その他	232	232
固定負債合計	5,689	5,575
負債合計	14,849	14,811
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	241	241
利益剰余金	12,448	13,200
自己株式	△2,946	△2,946
株主資本合計	11,493	12,245
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△433	△86
繰延ヘッジ損益	△1	31
退職給付に係る調整累計額	△30	△31
その他の包括利益累計額合計	△464	△86
純資産合計	11,028	12,159
負債純資産合計	25,877	26,971

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	6,879	7,796
売上原価	5,936	6,746
売上総利益	942	1,049
販売費及び一般管理費	771	733
営業利益	171	315
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	66	718
持分法による投資利益	60	94
その他	15	9
営業外収益合計	150	830
営業外費用		
支払利息	23	24
支払手数料	2	1
その他	0	0
営業外費用合計	25	26
経常利益	296	1,119
税金等調整前四半期純利益	296	1,119
法人税、住民税及び事業税	52	195
法人税等調整額	19	35
法人税等合計	72	231
四半期純利益	224	888
親会社株主に帰属する四半期純利益	224	888

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	224	888
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	346
繰延ヘッジ損益	0	33
退職給付に係る調整額	△0	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△25	378
四半期包括利益	198	1,267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	198	1,267

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	6,391	458	—	6,849	—	6,849
その他の収益(注3)	—	—	29	29	—	29
外部顧客への売上高	6,391	458	29	6,879	—	6,879
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	32	4	43	△43	—
計	6,398	491	33	6,923	△43	6,879
セグメント利益	325	137	16	479	△307	171

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸収入等でありませ

ず。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	7,287	479	—	7,766	—	7,766
その他の収益(注3)	—	—	29	29	—	29
外部顧客への売上高	7,287	479	29	7,796	—	7,796
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	35	4	46	△46	—
計	7,294	514	33	7,842	△46	7,796
セグメント利益	454	114	18	587	△271	315

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸収入等でありませ

ず。